



## 第 11 回人間文化研究情報資源共有化研究会

## 人間文化研究機構のもつ画像データ共有化の前進に向けて

現在、機構内には、画像（絵画、写真）情報を中心としたデータベースが多数ある。nihuINT で「画像・映像・音響」に分類されたもの以外にも、たとえば「所蔵資料目録」の中に「怪異・妖怪絵姿」「近世風俗図」などの画像データベースがある。

人間文化研究機構では、第 3 期に向け、機構内各機関における研究成果を、より見やすい形で社会に提供することを求められている。機構のもつさまざまな画像データは、専門外の研究者や、文化に関心のある一般市民にもなじみやすい情報資源であり、これをより活用していく方法を探りたい。

機構内のデータベースの連携検索はすでに可能であるが、検索するためには、現状では資料名や描かれた像主などの固有名詞を入力することが必要で、描かれた図柄のさまざまな属性から検索することはできない。

画像に、「子供」「犬」「病気」のような普通名詞からなるキーワードをメタデータとして埋め込むことによって、共通性のある画像、類似した画像を収集する「絵引きシステム」を考えることができれば、共有化システムは、研究者にとっても一般市民にとっても、格段に使いやすくなると考えられる。

すでに一部の機関ではそうした取組が始まっている。各機関の現状と将来計画を俯瞰し、将来的な連携検索を見通す場としたい。

○ 日 時 平成 28 年 2 月 6 日（土）13 時 00 分～17 時 30 分

○ 会 場 TKP ガーデンシティ京都 「山吹」

京都府京都市下京区 烏丸七条下ル 721-1 京都タワービル 7 階（京都駅より徒歩 2 分）

## ○ プログラム

13 : 00～13 : 15 問題提起

人間文化研究機構理事 榎原 雅治

13 : 15～13 : 45 「大型プロジェクトの目指す検索機能の高度化の取り組み」

国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター 副センター長 山本 和明

13 : 45～14 : 15 「近代日本の身装データベースの画像について」

国立民族学博物館 先端人類科学研究部 准教授 丸川 雄三

14 : 15～14 : 45 「絵入り百科事典データベースの構築－『訓蒙図彙』を核として」

国際日本文化研究センター 特任助教 石上 阿希

15 : 00～15 : 30 「洛中洛外図屏風『歴博甲本』人物データベースについて」

国立歴史民俗博物館 歴史研究系 教授 小島 道裕

15 : 30～16 : 00 「肖像画模本／歴史絵引データベースの課題」

東京大学史料編纂所 古代史料部門 助教 藤原 重雄

16 : 00～16 : 30 「画像内容に基づく検索技術に対する期待と現実」

国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系 准教授 北本 朝展

16 : 40～17 : 30 総合討論

○主 催 大学共同利用機関法人人間文化研究機構・研究資源共有化事業委員会

○連絡先 人間文化研究機構 事務局企画課研究支援係

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-3-13 ヒューリック神谷町ビル 2 階  
(TEL) 03-6402-9234 (FAX) 03-6402-9240 (Mail) shien@nihu.jp